



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月11日

上場会社名 株式会社識学 上場取引所 東
コード番号 7049 URL <https://corp.shikigaku.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 広大
問合せ先責任者(役職名) 経営推進本部長 (氏名) 和田垣 幸生 (TEL) 03-6821-7560
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日~2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	1,319	△0.8	47	△47.8	60	△44.9	88	△16.9
2025年2月期第1四半期	1,330	11.2	90	—	110	—	106	—

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 72百万円(△16.6%) 2025年2月期第1四半期 87百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	10.54	10.34
2025年2月期第1四半期	12.20	12.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	4,571	3,479	55.7
2025年2月期	4,895	3,437	50.2

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 2,547百万円 2025年2月期 2,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—				
2026年2月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,100	32.2	950	187.2	954	167.8	687	61.1	81.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期連結業績の修正については、本日(2025年7月11日)公表いたしました「2026年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年2月期1Q	9,132,996株	2025年2月期	9,132,996株
2026年2月期1Q	725,021株	2025年2月期	725,021株
2026年2月期1Q	8,407,975株	2025年2月期1Q	8,745,473株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	1
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは「識学を広める事で人々の持つ可能性を最大化する」という企業理念のもと、組織コンサルティング事業、スポーツエンタテインメント事業、ファンド事業の3事業を行っております。なお、当第1四半期連結累計期間より、従来「VCファンド事業」と「ハンズオン支援ファンド事業」としていた報告セグメントを「ファンド事業」に統合いたしました。

主力である組織コンサルティング事業においては、コンサルタントの育成と品質管理を行いながら、「識学」が顧客の組織に浸透する状態を実現するべくサービス提供を行ってまいりました。スポーツエンタテインメント事業においては、チーム強化への積極的な投資を行いつつ、地域密着型クラブとして認知度向上に向けたマーケティング活動やスポンサー獲得のための積極的な営業活動を行ってまいりました。ファンド事業においては、新進気鋭スタートアップ投資事業有限責任組合が新たに1社に対して出資を実施しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,319,365千円（前年同期比0.8%減）、営業利益は47,161千円（前年同期比47.8%減）、経常利益は60,700千円（前年同期比44.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は88,605千円（前年同期比16.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（組織コンサルティング事業）

① マネジメントコンサルティングサービス

当第1四半期連結累計期間においては、2025年2月期下期の受注金額が、前年同期を下回った影響を受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間のマネジメントコンサルティングサービス売上高は594,811千円（前年同期比12.0%減）となりました。売上高は減少したものの、2025年2月期下期からのマーケティング活動の抜本的な見直しにより費用は削減されました。

② プラットフォームサービス

当第1四半期連結累計期間においては、2020年9月よりサービス提供を開始した「識学 基本サービス」において、顧客満足度の向上と解約率の低下に取り組んでまいりました。なお、2024年4月より新規契約における価格改定（値上げ）を実施しております。

又、当第1四半期連結会計期間末における識学基本サービスの契約社数は605社（前連結会計年度末は631社）、識学基本サービスライトの契約社数は451社（前連結会計年度末は422社）、識学クラウドの会員数は30社（前連結会計年度末は39社）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のプラットフォームサービス売上高は526,500千円（前年同期比8.8%増）となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の組織コンサルティング事業における売上高は1,121,311千円（前年同期比3.3%減）、営業利益は19,877千円（前年同期比64.7%減）となりました。

（スポーツエンタテインメント事業）

当第1四半期連結累計期間においては、B1リーグへの昇格を目指してチームの強化を行いながら「地域密着型クラブ」として地域スポーツ振興を普及することを目的とした取組みを行ってまいりました。当第1四半期連結会計期間においては、2024-25シーズンのスポンサー獲得に向けた営業活動及び企業版ふるさと納税のさらなる拡充に向けた地方公共団体との連携強化に努めてまいりました。2025年5月に終了した2024-25シーズンのスポンサーからの受注額は314,053千円（前年同期比15.9%増）と順調に推移しました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間におけるスポーツエンタテインメント事業の売上高は198,054千円（前年同期比16.4%増）、営業利益は62,242千円（前年同期比3.3%減）となりました。

（ファンド事業）

当第1四半期連結累計期間においては、「組織力」や「成長する組織への転換」に着目した投資を行い、投資先企業への「識学」導入による組織改善によって成長を支援するファンドを運営し、新進気鋭スタートアップ投資事業有限責任組合は新たに1社に対して出資を実施するなど、積極的な投資を行ってまいりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間におけるファンド事業の営業損失は34,959千円（前年同期は営業損失22,111千円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、4,571,457千円となり、前連結会計年度末と比較して323,723千円の減少となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産合計は、3,891,557千円となり、前連結会計年度末と比較して258,811千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少756,403千円があった一方で、営業投資有価証券の増加423,375千円があったことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産合計は、679,899千円となり、前連結会計年度末と比較して64,912千円の減少となりました。これは主に、繰延税金資産の減少37,935千円があったことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債合計は、998,207千円となり、前連結会計年度末と比較して347,874千円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少227,243千円、及び未払費用の減少82,160千円があったことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債合計は、93,435千円となり、前連結会計年度末と比較して18,260千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少15,957千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,479,814千円となり、前連結会計年度末と比較して42,411千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加88,605千円があった一方で、及び非支配株主持分の減少47,668千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月11日に公表しました連結業績予想から、売上高及び各利益の見通しを修正致しました。

連結業績予想における売上高は、71億円程度（対前回予想比15.1%増）となる見通しです。営業利益は、9億5,000万円程度（対前回予想比134.6%増）となる見通しです。経常利益は9億5,400万円程度（対前回予想比142.1%増）となる見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益は6億8,700万円（対前回予想比50.3%増）の見通しです。

(連結業績予想)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	6,170	405	394	457
今回発表予想 (B)	7,100	950	954	687
増減額 (B - A)	930	545	560	230
増減率 (%)	15.1	134.6	142.1	50.3
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	5,369	330	356	426

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,312,580	1,556,177
売掛金	574,587	560,044
営業投資有価証券	993,292	1,416,667
商品	8,918	11,468
貯蔵品	1,632	1,643
前払費用	243,960	284,156
未収還付法人税等	-	57,786
その他	25,614	19,058
貸倒引当金	△10,217	△15,444
流動資産合計	4,150,368	3,891,557
固定資産		
有形固定資産	150,242	151,336
無形固定資産	104,182	94,465
投資その他の資産		
投資有価証券	91,272	92,490
繰延税金資産	70,498	32,562
その他	328,815	309,243
貸倒引当金	△200	△200
投資その他の資産合計	490,386	434,096
固定資産合計	744,811	679,899
資産合計	4,895,179	4,571,457
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	238,870	184,708
未払金	222,162	229,704
未払費用	280,413	198,252
未払法人税等	227,296	53
前受金	308,011	288,468
その他	69,327	97,020
流動負債合計	1,346,081	998,207
固定負債		
長期借入金	106,269	90,312
繰延税金負債	5,426	3,123
固定負債合計	111,695	93,435
負債合計	1,457,777	1,091,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	2,287,553	2,287,553
利益剰余金	651,279	739,885
自己株式	△490,234	△490,234
株主資本合計	2,458,599	2,547,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,157	257
その他の包括利益累計額合計	1,157	257
新株予約権	76,555	78,929
非支配株主持分	901,090	853,422
純資産合計	3,437,402	3,479,814
負債純資産合計	4,895,179	4,571,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	1,330,077	1,319,365
売上原価	388,635	389,588
売上総利益	941,442	929,777
販売費及び一般管理費	851,074	882,616
営業利益	90,367	47,161
営業外収益		
受取利息	2	260
新株予約権戻入益	-	9,312
助成金収入	14,972	8,063
違約金収入	6,000	-
投資事業組合運用益	1,181	-
その他	1,412	1,795
営業外収益合計	23,569	19,432
営業外費用		
支払利息	1,162	953
持分法による投資損失	1,923	1,613
投資事業組合運用損	-	1,162
為替差損	40	1,476
その他	626	687
営業外費用合計	3,754	5,892
経常利益	110,182	60,700
税金等調整前四半期純利益	110,182	60,700
法人税等	23,325	△18,625
四半期純利益	86,856	79,326
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,795	△9,279
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,651	88,605

四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	86,856	79,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	374	△6,573
その他の包括利益合計	374	△6,573
四半期包括利益	87,230	72,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,706	87,705
非支配株主に係る四半期包括利益	△19,475	△14,952

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	組織コンサルティング事業	スポーツ エンタテインメント 事業	ファンド 事業	計		
売上高						
顧客との契約 から生じる収益	1,159,972	170,105	—	1,330,077	—	1,330,077
外部顧客への 売上高	1,159,972	170,105	—	1,330,077	—	1,330,077
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	87,500	—	87,500	△87,500	—
計	1,159,972	257,605	—	1,417,577	△87,500	1,330,077
セグメント利益 又は損失(△)	56,282	64,335	△22,111	98,505	△8,138	90,367

(注) 1. 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、VCファンド事業セグメント及びハンズオン支援ファンド事業セグメントをファンド事業セグメントとして認識しております。この変更に伴い前連結会計年度のVCファンド事業に係るセグメント損失19,845千円及びハンズオン支援ファンド事業に係るセグメント損失2,266千円はファンド事業セグメント損失22,111千円となります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	組織コンサルティング事業	スポーツ エンタテインメント 事業	ファンド 事業	計		
売上高						
顧客との契約 から生じる収益	1, 121, 311	198, 054	—	1, 319, 365	—	1, 319, 365
外部顧客への 売上高	1, 121, 311	198, 054	—	1, 319, 365	—	1, 319, 365
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	124, 999	—	124, 999	△124, 999	—
計	1, 121, 311	323, 054	—	1, 444, 365	△124, 999	1, 319, 365
セグメント利益 又は損失(△)	19, 877	62, 242	△34, 959	47, 161	—	47, 161

(注) 1. 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、VCファンド事業セグメント及びハンズオン支援ファンド事業セグメントをファンド事業セグメントとして認識しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	18, 871千円	14, 914千円